授業料等の免除及び徴収猶予に関する規程の一部を改正する規程を次のように制定する。

平成15年３月６日

東京学芸大学長
岡　本　靖　正

平成15年規程第９号

授業料等の免除及び徴収猶予に関する規程の一部を改正する規程

授業料等の免除及び徴収猶予に関する規程（昭和45年規程第２号）の一部を次のように改正する。

第５条第１項中「並びに家族状況及び家計状況等を記入した所定の様式」を「及び家庭調書（家族状況及び家計状況等を記入した所定の様式）」に改める。

様式第１号中

「

申請者（学生自署）　氏　名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿
住　所＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿
〒（　－　）　TEL（　）　－＿＿＿＿

」を

「

申請者（学生自署）　氏　名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

」に

改める。

様式第２号中「入学料免除又は授業料免除」を「入学料免除若しくは入学料徴収猶予又は授業料免除」に改める。

様式第３号中

「

申請者（学生自署）　氏　名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿
住　所＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿
〒（　－　）　TEL（　）　－＿＿＿＿

」を

「

申請者（学生自署）　氏　名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

」に

改める。

附　則

この規程は，平成15年３月６日から施行する。

授業料等の免除及び徴収猶予に関する規程　新旧対照表（抄）

現　　行	改　　正
〔省略〕	〔省略〕
（出願の手続） 第５条　第２条第１号又は第２号により授業料の免除を受けようとする学生は，授業料免除願（様式第１号）並びに家族状況及び家計状況等を記入した所定の様式に所得証明書（様式第２号又は市区町村所定の様式）その他の必要書類を添えて，学生サービス課に提出しなければならない。 ２　前項の出願は，各学期ごとにそのつど公示する期日までに行わなければならない。	（出願の手続） 第５条　第２条第１号又は第２号により授業料の免除を受けようとする学生は，授業料免除願（様式第１号）及び家庭調書（家族状況及び家計状況等を記入した所定の様式）に所得証明書（様式第２号又は市区町村所定の様式）その他の必要書類を添えて，学生サービス課に提出しなければならない。 ２　前項の出願は，各学期ごとにそのつど公示する期日までに行わなければならない。
〔省略〕	〔省略〕
様式第１号 授　業　料　□免　除　願 □延　納　願 □分　納　願 ※該当する□に１つだけレ印を入れること。 記入が無い場合は受け付けないので注意すること。 平成　　年　　月　　日 東京学芸大学長　　殿 □教育学部　　類　　専攻　　年入学 □大学院　※（修士・博士）　専攻　　年入学 □特別専攻科　　専攻　　年入学 ※該当する方を○で囲むこと。 学生番号（　　－　　） 申請者（学生自署）　氏　名 住　所 〒（　－　）　TEL（　）　－	様式第１号 授　業　料　□免　除　願 □延　納　願 □分　納　願 ※該当する□に１つだけレ印を入れること。 記入が無い場合は受け付けないので注意すること。 平成　　年　　月　　日 東京学芸大学長　　殿 □教育学部　　類　　専攻　　年入学 □大学院　※（修士・博士）　専攻　　年入学 □特別専攻科　　専攻　　年入学 ※該当する方を○で囲むこと。 学生番号（　　－　　） 申請者（学生自署）　氏　名
〔省略〕	〔省略〕

様式第２号

所 得 証 明 書

平成　年　月　日

市区町村長　　殿

申請者(自署)世帯主氏名
世帯主住所
出願者氏名　　(学生番号　　)

このたび，入学料免除又は授業料免除に出願しますので，私の世帯全員についてご証明ください。

〔省略〕

様式第３号

寄 宿 料 免 除 願

平成　　年　　月　　日

東京学芸大学長　　殿

□教育学部　　類　　専攻　　年入学
□大学院　　※（修士・博士）　　専攻　　年入学
※該当する方を○で囲むこと。

学生番号（　　－　　）
寮　　名（　　）
申請者（学生自署）　氏　名
住　所
〒（　　－　　）　TEL（　　）　－

〔省略〕

様式第２号

所 得 証 明 書

平成　年　月　日

市区町村長　　殿

申請者(自署)世帯主氏名
世帯主住所
出願者氏名　　(学生番号　　)

このたび，入学料免除若しくは入学料徴収猶予又は授業料免除に出願しますので，私の世帯全員についてご証明ください。

〔省略〕

様式第３号

寄 宿 料 免 除 願

平成　　年　　月　　日

東京学芸大学長　　殿

□教育学部　　類　　専攻　　年入学
□大学院　　※（修士・博士）　　専攻　　年入学
※該当する方を○で囲むこと。

学生番号（　　－　　）
寮　　名（　　）
申請者（学生自署）　氏　名

〔省略〕

附　則

この規程は，平成15年３月６日から施行する。